

## 2006年から2017年に当科で血管免疫芽急性T細胞リンパ腫 と診断された患者様へ

### 診療情報を用いる後方視的研究へのご協力をお願い

大分県厚生連鶴見病院血液内科では、上記に該当される患者様の診療情報等を利用して、後方視的検討を行います。研究の内容については当院の臨床研究倫理審査委員会にて許可されております。本研究に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、または研究について詳細にお知りになりたい場合は担当医にお声かけください。

#### 【研究課題名】

血管免疫芽球性T細胞リンパ腫におけるCCR4発現の臨床的意義

#### 【研究責任者】

大分県厚生連鶴見病院血液内科 佐分利益穂

#### 【研究の対象となる方】

当科で2006年から2017年に血管免疫芽急性T細胞リンパ腫と診断された患者様

#### 【研究の概要】

血管免疫芽球性T細胞リンパ腫(AITL)は非ホジキンリンパ腫の2~5%、末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の15~20%を占める比較的稀な悪性リンパ腫です。発熱、皮疹、胸腹水貯留、自己抗体等の多彩な症状を呈し、濾胞ヘルパーT細胞というリンパ球を起源とした腫瘍と考えられています。2012年にケモカインレセプター4(CCR4)という腫瘍細胞の表面受容体を標的とした分子標的治療薬であるモガリズマブが、CCR4が高率に発現しているT細胞リンパ腫である成人T細胞白血病/リンパ腫に対して承認され、CCR4が注目されるようになりました。現在、再発・難治性のAITLを含む末梢性T細胞リンパ腫に対してもモガムリズマブによる治療が選択できます。しかし、以前からAITLの起源と考えられる正常の濾胞ヘルパーT細胞ではCCR4の発現頻度は低いとされており、AITLにおいてCCR4の発現が臨床的にどのような意味を持つかは明らかではありません。

#### 【研究の意義】

AITLにおけるCCR4発現の臨床的意義を明らかとし、AITLの病態解明に寄与する事を目的としております。

#### 【研究（調査）の方法・期間】

対象となる患者様の臨床データを医療記録から収集します。診断確定に至ったリンパ節検体で提出された CCR4×cyCD4 の 2 カラーFCM の結果から、CCR4×cyCD4 陽性細胞／cyCD4 陽性細胞×100 にて CCR4 陽性率を算出し、診断に至ったリンパ節組織病理所見、リンパ節検体のフローサイトメトリーや染色体分析結果、発症時の臨床症状および検査所見、治療反応、再発および転帰を含む臨床経過との関連について調べます。研究期間は研究許可日から 2018 年 7 月 1 日までです。

#### 【個人情報に関する配慮】

連結可能匿名化を行い、対応表は鍵のかかる庫で保管します。得られた結果は、学会や医学雑誌に発表されることとなりますが、研究の結果を公表する際は個人が特定できないようプライバシーに配慮致します。

#### 【患者の利益と不利益】

この研究では治療介入を行いません。実地医療の結果を調べる後ろ向き観察研究であり、本研究に参加することによる患者様の利益、不利益はともにありません。

研究の趣旨を御理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。もし、本研究に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は担当医もしくは以下にご相談ください。

#### 【お問い合わせ先】

〒874-8585 大分県別府市大字鶴見 4333 番地  
大分県厚生連 鶴見病院 血液内科 佐分利益穂  
電話番号（代表）：0977-23-7111